

## 戦略的環境アセスメントに関する答申の概要

戦略的環境アセスメント（計画段階環境影響評価）について、京都市環境影響評価審査会より、概ね適正であると認めるとの答申をいただきました。

この中で、複数案のいずれの取組についても配慮すべき事項に関する言及はありませんでした。今後、答申での指摘事項を踏まえ、環境配慮報告書を作成し、公告・縦覧を実施します。

### 1 答申の概要

〔新京都市循環型社会推進基本計画（仮称）環境配慮報告書案について（答申）平成21年11月25日 京都市環境影響評価審査会 〕より）

#### ① 全体

- ・ 要綱に定める計画段階環境影響評価技術指針に掲げる手法により、複数案の設定及びその予測評価が行われている。その内容について、おおむね適正であると認める。

#### ② 複数案の設定

- ・ 各ケース案の特徴を捉えやすい表題を掲げること。
- ・ 各ケース案の主な相違点を分かりやすく表記すること。

#### ③ 調査、予測の手法

- ・ 予測手法について、最新の知見を集め、計画の中で検証を行うこと。
- ・ 各数値の根拠等、計算方法等を脚注等において分かり易く補足するように努めること。
- ・ また、可能な限り数値の取りうる幅についても記し、より説得力のある数字とすること。

#### ④ 調査、予測の結果

- ・ 収集運搬車両の走行距離について、より妥当性のある予測評価に修正すること。
- ・ 費用について、特に施設建設に係る費用等を可能な限り数値で示すこと。
- ・ その他参考資料として国等の数値目標との比較表を追加すること

#### ⑤ その他

- ・ 用語の統一や十分な説明を行うこと
- ・ 今後、全国的に人口が減少する局面を迎え、本市の経済規模についても縮小する可能性がある。また、技術の進歩による環境負荷の低減、再生利用率の向上等も考えうる。これらを十分に踏まえた上で、今後の施策に十分反映するとともに、本書に示された予測・評価についても、新京都市循環型社会推進基本計画（仮称）の中で常に検証を行い、同新計画のPDCAサイクル（注）を確立していくこと。

### 2 戦略的環境アセスメントの実施経過と今後の流れ

- |        |   |
|--------|---|
| 8月5日   | 平成21年度第1回審査会  |
| 8月18日  | 環境配慮報告書案 公告・縦覧（9月17日まで）                               |
| 9月10日  | 第1回計画段階環境影響評価小委員会                                     |
| 10月23日 | 第2回計画段階環境影響評価小委員会                                     |
| 11月25日 | 平成21年度第2回審査会<br>「新京都市循環型社会推進基本計画（仮称）環境配慮報告書案について（答申）」 |
| 1月     | 環境配慮報告書 公告・縦覧   |